

春よ来い。地域の方の心遣いに感謝いたします。 Vol.12

3月14日(日)、東京と長崎にサクラの開花宣言が出たとのニュースがテレビから舞い込んできました。昨年も開花の時期が早かったそうですが、今年も、例年より2週間早く、史上一番の早さだったようです。早いもので3月も半ばを過ぎ、来週23日は6年生の卒業式。26日は1~5年生の修了式を迎えます。児童も教職員も有終の美を飾るべく励みます。それでは、今回も前回に引き続き、校内の春を告げる『花だより』パート2をお贈りします。

校長室に生けられた、早春を象徴する花、スイセンです。地面に群生している姿も素晴らしいですが、一輪一輪を愛でるのも風情があって素敵だなと思いました。スイセンと言えば、その爽やかな香りが魅力の花です。上の白い水仙はシャープなすっきりとした香りがします。下の黄色い水仙は甘くフルーティーな香りがします。部屋に芳香剤を置いたようです

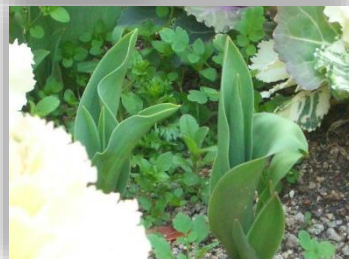


←スイセンの芽



どちらも昨年の晩秋の11月に、正門花壇に、用務員さんに、球根で植えてもらった、上はスイセン。下はチューリップです。この種類、私が自宅で植えるために購入したのですが学校にもと思い、持参して植えてもらいました。冷たい土の中でエネルギーを蓄え、ようやく芽吹きました。どちらも、めずらしい、花色、形の品種です。今から開花が楽しみです。皆様にも、ぜひ、愛でてもらいたいです。

チューリップの芽 →



児童下足室前の廊下の角に生けられた、校長室のと同じスッキリとした匂いの香る水仙と、生け花に動きを与えるのに欠かせない枝ものです。この枝ものについては名前が出て来ません。今度、生けてくださった方に遭ったら聞いてみたいと思います。さて、この枝ものの植物に変わった種?のようなものがありました。拡大写真をご覧ください。クルミのような形をしています。



花を愛でる。季節を愛でる。

環境づくり=人づくり。感謝しております。